**MCj04084470000[1]**

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・長方形，正方形，三角形，平行四辺形，円の面積の求め方を理解している。

○既習とつなぐ見方・考え方

・4年生で面積は1㎠のマスの数のいくつ分で表されることを学習している。

教材研究ノート№6-B-4

≪学習問題≫

○○町の面積はどのくらいだろう。

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

②見通し:葉っぱみたいな形だから難しい。およその面積なら出せそう。

→長方形や三角形と考えて、面積を計算すればよい。

②学習課題:長方形や正方形，三角形と考えて計算したり，１㎠のマスの数を数えたりして面積を求めよう。

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

③個人追究:全体の形を長方形とみたり，切って正方形や三角形とみたりして面積を求め，求め方を説明する。

→「こうやって○町のまわりに直線をひいてみると、長方形のような形になるぞ。たての長さと横の長さを△倍して本当の長さを求めて面積をだそう。」

④共同追究前半（解法の比較検討）

「それぞれのやり方で共通しているのは何だろう？」

→「どれも正確の値ではなく，だいたいの値になっている。」

→「似ている何かの形として考えて求めている。」

④共同追究後半（思考を深める）

「○○町の正確な面積は265.93㎢です。求めた数と違うのはなぜかな？」

→「誤差があるから。およその形だから。」

「長方形を多くとりすぎたので，黒と白が半々になるくらいにひけばよさそう。」

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・○○町の面積は，似ている形にして計算して求めるとだいたい近い数値になる。

・地図で考えると面積を求めることができる。

**MCj02979350000[1]**

⑥定着･活用問題

(1) 先生の手の大きさを一番よいと思う方法で求めよう。

(2) 隣の□村や△町，◇市の面積を求めよう。

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・導入場面で，だいたいどのくらいか見積もる活動を取り入れ，囲まれた長方形より小さいことに気付かせる中で，既習の形とみることや，マス目の数で考えればよいことに気付かせたい。

・正確な面積との違いについて考える場面では，円の面積を求めた学習を振り返らせ，マス目の数で考えたが正確な値ではなかったことを想起させたい。

【板書計画】